

緑の募金

だより 春 2020

皆様から寄せられた大切な「緑の募金」を
国内外での森づくり、人づくりに活用しています。



元牧場地での植樹活動(長野県)

人々と森林をつなぎ、
森林がもたらす豊かな暮らしを未来につないでいくために、
緑の募金は、地域の人々の身近な緑化活動や
次世代が参加する森林体験活動などの支援に、
大切に活用されています。



緑の募金

「緑の募金」にご協力をお願いします

春の新緑シーズン(1~5月)と秋の紅葉シーズン(9~10月)を中心に
家庭募金・街頭募金・職場募金・企業募金・学校募金などによって行われています。



地域と学校が連携して取り組む子どもたちの森づくり

大阪府能勢町

大坂のてっぺんと称される自然豊かな能勢町。4年前、町内6つの小学校と2つの中学校が統合されたのをきっかけに、地域と学校が連携し、「子どもたちにとって、良い学び・良い環境をつくっていこう」という動きから始まった「学びの丘づくり」。地域のボランティアの人々の協力を得て整備を進めたフィールドでは、授業としての自然観察会や特別教室が行われています。また、春と秋には地域の人々を対象とした桜や紅葉を楽しむための「学びの丘」の開放が行われるなど、地域の憩いの場としても活用されています。



学びの丘から眺めた校舎

大阪府能勢町
O S A K A

次世代に引き継がれる海岸林の再生活動

岩手県釜石市

「震災からの復興」をスローガンに、地元住民の意見を優先させた海岸防災林の再生活動。地元中学生が中心になって、専門家の協力、指導の下、地域のハマナスやハマボウフウなどの海浜植物の種子を採取して育苗し植栽を行うなど、地域の人々が親しみ愛した海岸の再生がスタートしています。

地元の人々も参加した森林再生の取り組みを通して、地域のコミュニティの活性化が図られています。

岩手県釜石市
I W A T E



地元の種子を採取・育てた海浜植物



地域の人々と実施した桜の植樹

ふれあい広場の小川での自然観察会

児童と地域ボランティアが地元材で製作した机や椅子を使った授業



植栽手順の説明

根についた土を丁寧に落とす作業

遊歩道を飾るように植栽

県内や北海道からのボランティアも参加

「広い地域から子どもたちが集まっている学校なので、学校が終わるとそれぞれが散り散りになり、友だちと一緒に遊ぶ時間が少ないのですが、『学びの丘』は、そんな子どもたちが一緒に遊び自然体験ができ、自らが発見をして学ぶ場となっています。これからも『学びの丘』の整備に取り組んでいきたいと思っています。」

能勢ささゆり学園副校長 福島輝彦さん

「この場所は、以前は牧場で地域の人々が家族で訪れ楽しむ憩いの場として、多くの人たちに親しまれてきました。今回、『学びの場』として再活用されるようになったので、学校と連携をして、生徒たちだけでなく保護者の方、そして以前のように地域の方々が親しめる場所にしたいと思っています。」

学校運営協議会会長 龍見敬明さん



「緑の募金」は、子どもたちのための環境教育の場づくりを支援しています！

「私の子どもの頃の根浜海岸は広い砂浜に松林の緑があり、緑の丘から白い砂浜が海に続いている素敵な場所でした。今あの風景はなくなったのですが、子どもたちが再生活動を始めてくれたおかげで、私自身も一緒に見届けていきたい気持ちです。」

活動する海岸林の前にある旅館「宝来館」女将 岩崎昭子さん

「いろいろな世代の人と交流するこの活動は、はじめは得意ではなかったです。でも、お互いのことを知らなくても、一つのことに向かってやるのが楽しいことだと思えるようになりました。海浜植物が咲く海岸になったとき、結婚して家族ができていたらみんな来てみたいと思います。」

活動に参加した中学生生徒

「震災の記憶がまだまだ残っていて、海を見たくない、海のことを考えたくないなど人それぞれです。でも私たちの故郷は海があつての故郷なので、この活動を通して、自分たちの住む故郷を大事にしていく気持ちを次世代に伝えていきたいと思っています。」

鵜住居小学校地域コーディネーター 市川淳子さん



「緑の募金」は、地域の人たちが愛する森林の再生活動を支援しています！

「緑の募金」の活動は、SDGsへの貢献

にもつながります！  SDGsとは、2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です。

子どもたちを育む自然体験活動を応援！



体験を通じて「私たちの生活において、森林がいかに重要な役割を担っているのか」を知り学んでもらうことを目的に、森や里山での「体験学習」を行っています。



親子での間伐体験



里山での樹木調査



子どもたちによる間伐体験



間伐材を活用したツリーハウスづくり



2018年度は、
全国184カ所の
活動を支援しました！



被災地域の幼稚園での植樹



津波被害を受けた海岸林での植樹



震災により倒れた木の搬出



担い手を育てるための研修



若い世代とともに竹林の整備



専門家の指導の下に行う間伐実習



荒廃した足尾の山での植樹



里山整備での搬出



海岸での植樹



林内遊歩道の整備



森林の癒やしの体験

大きな被害を受けた被災地域で、防災林等の森林整備や居住地域周辺、学校周辺の緑化を行っています。

災害被災地の復旧や緑のある豊かな生活を応援！



森林の活力を支えるため、植樹や下刈り、間伐などを地域住民とボランティアの人々が一緒になって行っています。

森と人を元気にする活動を応援！



海外での森林保全活動を応援!



ハイチ共和国

森林荒廃が進むハイチ西県フォンパリジエン村ロッシュ地区で、ハイチに自生し栄養価と市場価値の高いモリンガや薪燃料となるアカシアを住民と一緒に植樹し、森林環境を改善する活動を支援しています。



マダガスカル共和国

マダガスカルの北部に位置する村、アンボヒダバ村一帯での森林資源の再生と土砂災害を防止する環境修復活動を実施。住民とアカシアやオレンジなどを植樹する活動を支援しています。



2018年度は、
海外51カ所の活動を
支援しました!

緑化運動のあゆみ

「第1回植樹地はいま」

富士山を背景に甲府盆地を一望できる甲府市北部の丘陵地に、山梨県立武田の杜保健休養林が広がる。4月に入ると、サクラの開花とともにウグイスが自慢の声で春を告げる。市街地から近いことから散歩に訪れる人も多い。

「荒れた国土に緑の晴れ着を」をスローガンに、1950年に始まった全国植樹祭。第1回植樹祭(当時の名称は「植樹行事並びに国土緑化大会」)の会場は、立派な針広混交林になった。植樹の後、「武田の杜」として整備され、癒し効果が認められた森林浴を体験できるセラピーツアーは年間40回を超える。傷ついた野鳥や野生動物を救護し野に返す鳥獣センターも設けられた。

第1回植樹から今年で70年。かつての荒廃地は緑豊かな晴れ着をまとい、人や野生動物の生命をも癒やし続けている。



(毎日新聞記者・山本悟)

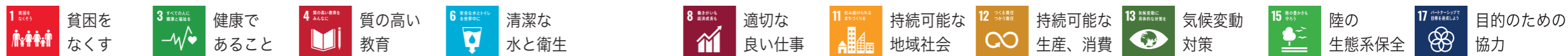


「緑の募金」で世界共通の目標に貢献

緑の募金は、SDGsが掲げる17のゴールの達成に貢献します。

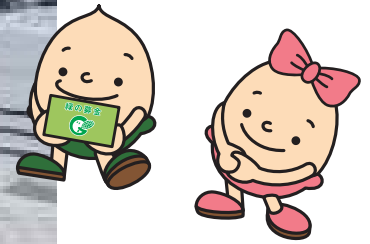
- 1 貧困をなくそう**: 緑の募金は、森林荒廃が進む海外での森林環境改善のための植樹活動や地域住民への環境教育を行うと共に、生活向上のための苗づくりなどを支援しています。
- 3 すべての人に健康と福祉を**: 森林は安らぎや癒しの効果を持つ空間であることから、森林浴やハイキングが気分転換や健康維持に効果があるとされています。緑の募金は地域のシンボルである樹木や人々が集う森林の保全活動を支援しています。
- 4 質の高い教育をみんなに**: 子どものころに自然にふれる体験をすれば、学びの意欲の向上につながるというデータがあり、森林は「生きる力」の教育の場として役割を果たしています。緑の募金は子どもたちを育む自然体験活動を支援しています。
- 6 安全な水とトイレを世界中に**: 森林には、雨水を土壌中にたくわえてゆっくりと河川に流し、洪水や渇水を緩和する働きや水質を浄化する働きがあります。緑の募金は水源地での植樹、保全活動を支援しています。
- 8 働きがいも経済成長も**: 緑の募金は、持続可能な森づくりに必要な「森づくりリーダー」の人材育成活動を支援しています。
- 11 住み続けられるまちづくりを**: 緑の募金は、東日本大震災や熊本・西日本・北海道地震などの被災地域で、防災林等の森林整備や住居地域周辺、学校周辺の緑化活動を行っています。
- 12 つくる責任 つかう責任**: 木材は、断熱性や衝撃に対する安全性が高く、目にやさしく、人の生理面や心理面に良い影響を与える「人にやさしい素材」と言われています。
- 13 気候変動に具体的な対策を**: 森林は、産業活動や家庭生活によって排出される二酸化炭素を吸収して、地球温暖化を抑える働きを持っています。緑の募金は森林の活力を支えるための植樹活動や下刈り、間伐などの保全活動を支援しています。
- 15 陸の豊かさも守ろう**: 国土の約7割を占める日本の森林には、多くの動植物が生息し、その土地の環境に応じて複雑かつ多様な生態系を形成しています。緑の募金は生物多様性の保全につながる森づくりを支援しています。
- 17 パートナーシップで目標を達成しよう**: 緑の募金は、「緑の羽根」をシンボルに学校募金をはじめ、家庭募金・街頭募金・職場募金・企業募金などによって行われています。

「緑の募金」の活動と関係が深いSDGs目標は右記のがあります。



「緑の募金」では、さまざまな参加方法を実施しています！

「緑の募金」は家庭募金、街頭募金、職場募金、企業募金、学校募金などを行っています。



より一人でも多くの人に参加してもらえるように、日々の生活の中で参加、協力ができるさまざまな方法を実施しています。

自動販売機で！
緑の募金のマーク付き自動販売機は、販売額に応じて一定割合が募金にあてられます。
写真提供：ガイドードリンク株式会社

コンビニやスーパーのレジ横で！
レジの横に緑の募金へ協力をする募金箱が置かれています。
写真提供：株式会社ファミリーマート
株式会社ローソン

あなたの家に眠っている「お宝」で！
家庭に眠っている物品(お宝)を受け入れ、査定額が募金となります。
提供：お宝エイド®

カード類で！
クレジットカードの利用ポイント、クオ・カードの購入額の一部が募金となります。
写真提供：JXTGエネルギー株式会社
株式会社クオカード

寄付金付き商品で！
寄付金付き商品を購入すると、その販売価格の一部が募金にあてられます。食品、衣料品、家電製品、出版物、日用品など協賛商品は多岐にわたります。
写真提供：江崎グリコ株式会社



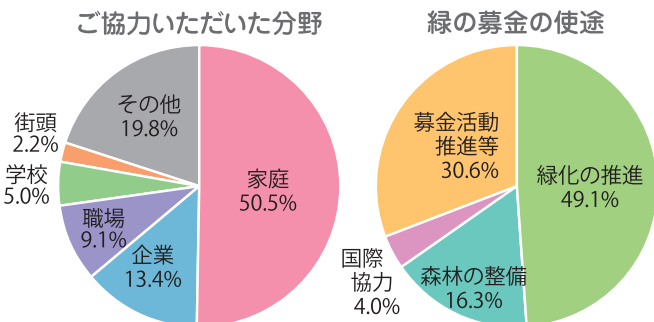
2019年に皆様から寄せられた緑の募金は、**約21億円**になりました。
ご協力ありがとうございました。

緑の募金は、皆様からの募金を適正に運営管理しています。

募金



募金するには



「緑の募金」はいつでも、どこでも、だれでも参加できます！



公益社団法人
国土緑化推進機構

National Land Afforestation Promotion Organization

0120-110-381

ホームページアドレス <http://www.green.or.jp/>

電子メールアドレス bokin@green.or.jp

詳しくは「緑の募金」ホームページをご覧ください。



〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4 砂防会館別館 5 階